

令和2年度第2回 安城市総合計画審議会 議事要旨

日 時	令和2年11月9日（月） 午後2時～3時40分	
場 所	安城市役所本庁舎3階 第10会議室	
出席者	委 員	加藤研一会長、太田千尋副会長 久恒美香委員、大谷利夫委員、加藤宣子委員、神谷明文委員、 沓名俊裕委員、塚田哲雄委員、戸田こず恵委員、野上三香子 委員、深谷誠委員、堀和磨委員、伊藤朝野委員、菊智ゆき委 員
	事務局	市長、副市長、教育長、企画部長、行革・政策監、 関係部長級幹部・課長、企画政策課長、企画政策課職員
次 第	1 市民憲章唱和 2 市長あいさつ 3 副会長の選出 4 議題 （1）第8次安城市総合計画 実施計画（令和3～5年度）（案）につい て 5 その他	

1 市民憲章の唱和

2 市長あいさつ

本日は、ご多用の中、総合計画審議会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

本日の審議会では令和3年度から5年度までの3か年の実施計画についてご審議いただきます。「実施計画」とは、総合計画の基本理念に掲げる目指す都市像「幸せつながる健幸都市 安城」の実現に向けてのまちづくりを推進するために、重点戦略及び基本計画に沿って毎年策定するものでございます。

今年度はいよいよ第8次安城市総合計画の後期計画にあたる「ケンサチ2.0」がスタートしたわけですが、年初から新型コロナウイルスという見えない脅威との戦いという事態にも見舞われました。

本市では、このコロナ禍の下、市民の安全・安心を図るために「新しい生活様式」に対応した感染拡大防止策を講じつつ、また事業者に向けては経済支援で景気の下支えを行い、目下の社会情勢の変化に応じた市政運営に努めてまいりました。しかしながら、今まさに新型コロナウイルスの感染拡大第3波の到来が懸念されているところであり、引き続き予断を許さない状況が続いております。

このような状況を踏まえ、今般の実施計画の策定においては、経済活動の停滞による

今後の市税収入の大幅な減少を想定のうち、事業全体をゼロベースで見直し、仮に継続事業であっても思い切って先送り・凍結を断行し、徹底した歳出額の緊縮を図りました。反面、コロナ終息後を見据え、橋や上下水道の老朽化対策や保育園・学校等の中規模改修など緊急性の高い事業ばかりでなく、経済効果も考慮しメリハリの効いた事業採択を心掛けました。

今後の見通しを申し上げますと、コロナ禍が過ぎ去った後も、少子高齢化の進行による恒久的な税収の減少と社会保障費の増加、既存の施設・設備の老朽化対策による財政負担の増加、ひいては現役世代の減少が見込まれることから、引き続き厳しい財政運営が求められることは変わりありません。

このような状況にあつて、本市では後期計画「ケンサチ 2.0」で新たに国際開発目標「SDGs」を行財政運営の指針に位置づけました。今後はこのSDGsの視点をもって、市を超えた広域での取組み、民間企業との公民連携、デジタル・トランスフォーメーションを強力に推進していくことで、市民が健やかで幸せな生活を実感できるまちづくりの実現を図ってまいります。

本日、お集まりいただいた委員の皆さまには、本市がこのコロナ禍という未曾有の危機を乗り越え、発展していくために、どうか忌憚のないご意見を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

3 副会長の選出（事務局説明）

【加藤研一会長】

榊原委員の後任の太田委員を選出します。

4 議題

(1) 第8次安城市総合計画 実施計画（令和3～5年度）（案）について （事務局説明）

【加藤研一会長】

それでは早速議事に移りたいと思います。

本日は議題が1つでございまして、議題（1）第8次安城市総合計画 実施計画（令和3～5年度）（案）について、事務局から説明をお願いします。

（事務局説明）

【加藤研一会長】

ただいま事務局から議題（1）第8次安城市総合計画 実施計画（令和3～5年度）（案）について説明がありました。

かなり量がありますので、区切りのよい内容ごとにご意見を願いますこととしたいと思います。皆さまの広い視野、高い政策的見地からご意見をいただきますよう、よろしく願い申し上げます。

最初に、資料1 実施計画（案）の1～5ページの「第1章 実施計画の概要」「第2章 財政計画（一般会計）」についてご意見がありましたらご発言願います。

続きまして、6ページからの最後まで「第3章 事業計画 1 健幸都市を実現するための重点戦略、2 基本計画に関連する施策の推進」についてご意見を願います。

事前にいただいている質問について、回答が出ておりますが、確認など、追加で質問等ありましたら願います。

沓名委員よろしいですか。

【沓名俊裕委員】

ご指名いただきましたので、少し質問をさせていただきたいと思います。

3月くらいからコロナの影響で会議がかなり中止となってしまう、今まではある意味仕方ないという状況でした。今からまたコロナの第3波がはじまりいろいろ大変な時期に突入してくると思います。体温を測ったり、消毒をしたりして、コロナ感染に対する予防、防御をかなりしていますので、こういった会議ももちろん、できるような形をどしどししていただいて実施されたらどうかと思います。コロナで悪いことばかりではなく、コロナが出たことによってオンラインがかなり利用されるようになってきて、今日の会議でも欠席される方が結構おみえになりますけれども、しかしながらこれをオンラインでやるとしたら、ある意味全員の人が参加できるような、かたちにはなるやもしれません。

今からの時代というものを先駆けたようなハイブリット型の会議、リアル+オンラインの会議を市役所も取り入れて、実施されたらいかかなということも感じました。

それと同時にいろんな事業も、来年の安城七夕まつり、その前にオリンピックもありますし、どうなることかなということですが、極力いわゆるコロナがあったとしても、何か違う形でもってでも、安城七夕まつりを実施していただいて、今からの時代、今のコロナ禍の時代があったとしても、それにそぐう、変化できるようにやれるような形のを今からは考えていく必要があるんじゃないでしょうか。時代とともに臨機応変なやり方というものを是非考えていただけないでしょうか。

そして、もう一つよろしいでしょうか。

いま、ABCさんがかなり活躍していただいて新しい企業を発掘する、スタートアップになるような相談窓口を開設していて、もちろん安城商工会議所でも行っているわけですが、安城から新しい企業人を誕生させるために、いろんな協力と支援を、今まで以上にご支援を願って、安城から日本に、安城から世界に発展するような企業というものを育てられるような環境づくりというものを是非お願いしたいと思います。

【加藤研一会長】

はい、ありがとうございました。

関係の部署のほうからなにかございますか。

【神谷学市長】

話が非常に多岐にわたっておりますので私の方から総括的にお話をさせていただきたいと思いますが、今年の2月あるいは3月くらいからコロナが全国的に大きな問題となり、新年度予算は今年の4月からスタートしましたが、その時にはもうコロナの影響がかなり私たちの地域にもいろんな制約を及ぼしておりまして、せっかく新年度予算の中でいろんなイベントや大会をしようということでスタートしましたが、結果として、できなくなってしまったという状況が続いてまいりました。

来年度に向けては、いろんなイベント、大会が場合によってはできるかもしれませんが、ことによるとやはり密になってしまうからできないという場合も出てくるかもしれません。開催できた場合の予算計上はもちろんですけども、できなかった場合はじゃあやめ、ということで終えるのではなくて、形を変えて少し縮小するとか、あるいは会場を2つ3つ分散するとか別の形で実施できるよう検討しています。たとえば、今年は福祉まつりが開催できませんでしたが、来年も開催できないと、何もしないでいますと市民の皆さんの福祉に対する意識や関心が低下してしまって、そういえば福祉もあったね、ということになってしまいますので、やはり多くの皆さんに福祉を意識していただく、いろんなきっかけを、大きな大会はできなくても、別の形で何か仕掛けて皆さんに重要性を伝えていく、そうしたことを次年度の予算の中では考えてるように指示しています。全部やめということではなくて、かたちは変わりますけれども、何らか様々な年間のイベントを続けていきたいと考えております。

それから起業も今、ABCさんが非常に精力的に進めてくださってしまっていて二年半くらいで70数社ですか、新規起業されたと聞いた記憶がございます。ABCのチーフコーディネーターが二年少々で七十数社が起業しましたがけれども、まだ一社も廃業しておらず、みんな頑張ってくれてますよ、と言っていましたので、やはりこう前向きなチャレンジ精神を引き続き大切に育てていきたいと思っております。

【加藤研一会長】

はい、ありがとうございました。

ほかよろしいですか。

【深谷誠委員】

冒頭、市長もSDGsについては行財政の指針にするとおっしゃっていました。SDGsは17の目標があって、169個のターゲットがあると思いますが、全体的に実施計画

をみて、意識としたときにこの目標とこの目標に該当するねという、そういう紐づけはできると思います。

いまの段階ではまだスタートしたばかりですが、安城らしくたとえば17の目標のうちの、このターゲットはとにかく自分たちで、なんとか独自性を出してやろうということで、そこから施策が引っ張られるような流れというのを、今後はしっかり行っていくと、当初、後期計画に示されたような、SDGsを通じたこうした市のいろんな行政が国際宣言に則ったすばらしいものになっていくのではないかと思います。現状では少しいま受け身ではないかという気持ちもしますが、いかがでしょうか。

【企画政策課長】

ご質問いただきましてありがとうございます。

確かにおっしゃるとおり、現状では、まず、我々、市役所が行っております仕事を、SDGsに当てはめて整理をしているという現状にとどまるところではございます。しかしながら、この後期計画につきましてはケンサチを掲げておりまして、ケンサチ＝（イコール）SDGsということで、誰も取り残さない社会をつくること＝（イコール）、私も後期計画で目指しております施策と目標は同じであるというところでございます。現時点ではSDGsの目標と我々の事業の区分けを揃えている段階でございますが、事業につきましては、それぞれ職員が検討しまして、安城らしさというものを導き出すよう日々努力をしております。

職員一同さらに理解を深めましてそのうえで、委員のご指摘でございます、安城らしい事業をSDGsを伝えながら出していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

【加藤研一会長】

ありがとうございます。

それでは、私から1つ、事前質問の高齢者（要介護・要支援認定者）一般タクシー事業ですが、この質問によって高齢者の後ろに要介護・要支援認定者ということで、追加をしていただくということは、それはそれでよろしいんですが、もう一つですね、私共の地元に、一人暮らしの高齢者の方にアンケートをとりますと、今現在は、70代、80代も、車に乗れているから特別困っているということではありませんが、将来的なことを考えると車に乗れなくなるのは、買い物に行けない、外出ができないということで、みなさん、将来、一番大きな困ってくるものの一つとか二つというそういう状況でございまして。

私共、町内会あるいは町内福祉委員会という立場ですと、社協さんとのいろいろなお話し合いの中で生活支援というか移動サービスをこれからはやっていってほしいということは常々言われております。

現状は健康体操教室、あるいはサロン活動ですね、このセットがメインですが、これから先ということになると生活支援のウエートを上げていってほしいというのが私たちも感じていますし、社協さんもそういうふうに感じておられる、ということであります。

先日、福祉の関係の大きなオンラインの会議がありましたが、その場で、市のベースで積極的に取り上げているところもありますし、もう一つはNPOとして、そういう移動サービスを積極的に取り組んでいるという、2つの事例の発表がありました。あんくるバスはいろいろ路線の変更とか改良をしていただいて使いやすくなってきたいて、福祉センターへいくとか、更生病院に行くとかという、このルートはほとんどところが確立されているのですが、買い物に行くという人には少し現状寂しいのかな、という気がします。とりあえず市としては高齢者の中でも、支援を特に必要な方に、ということでスタートはされますが、一般の一人暮らしの高齢者についても何らか、将来の不安に備えて考えていってほしいと思います。

私たち町内福祉委員会ももちろん行いますが、それだけで本当にできるのかと少し不安なところがありますので、一緒に考えていくということになると思いますが、その面、もし何かお考えがございましたらお話していただきたいと思います。

【福祉部長】

今、会長がおっしゃるとおり、一般の方に対する地域の移動支援というのは、なかなか成り手がないう状況でございます、NPO レベルですと今、1社、会員さんに対する支援ということで実施しているところでございます。ただ、なかなか採算性が悪いということでもして伸びていないという状況ではございますけれど、最近そういう動きを示しておられる一般の方もみえますし、もう少しNPOと企業を巻き込んだそういった対応がとれないか、と探っている状況でございますし、地域のみなさんがどのように活躍できるのかということもさきほどおっしゃった社協の生活支援コーディネーターも一緒に考えていきたいという状況でございます。なんらかの答えをそろそろ出していけないといけないと考えておりますので、また地域の方もご協力をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

【加藤研一会長】

社協さんと市の高齢福祉課と私たち町内福祉委員会とやっぱりもう少しこのウエートを、協議する場を充実していってほしいなと思います。

ほかにございますか。

【久恒美香委員】

誰も取り残さない社会をつくるということで、先程、井杭山住宅をバリアフリー化に

するとか、高齢者、1人で住んでいらっしゃる方に1DKの部屋をつくるといったお話がありましたが、とてもいいと思います。ほかにも市営住宅がたくさんあるので、今後そういったバリアフリー化や1DKの部屋を増やしていただきたいと思います。

先程、北部給食調理場でアレルギーの人に対応した料理をするということがありましたが、他の給食センターでももちろん実施してほしいですし、保護者の方や実際にアレルギーを持っているお子さんにも聞いてみるなどして現場にあった対応をしていただけだとありがたいと思いました。

【加藤研一会長】

はい、ありがとうございます。

なにかありますか。

【建設部長】

井杭山住宅につきましては新しい住宅ということで進めておりまして、今後新たに建替えが迫ってきている住宅が1つ2つございますので、井杭山住宅の状況をみながら時代に合った住戸改善ということで検討していきますのでよろしく願いいたします。

【教育振興部長】

北部給食調理場のアレルギーに関してでございますけれども北部調理場の方は、卵と乳の2種類について、令和4年度から実施していく予定でございます。

その他の調理場につきましては、現在、策定業務を委託し、その中で検討していきたいと考えておりまして、すぐには結論が出ないと思いますので、よろしく願いいたします。

【加藤研一会長】

まだ発言されていない方ございましたら良いですか。

伊藤さんよろしいですか。

【伊藤朝野委員】

ありがとうございます。

都市基盤の交通の面で、先程のバリアフリーのお話がありましたが、私は、ヘルパーで高齢者の外出、散歩のお仕事をさせていただいたことがありまして、そのとき車いすでしたが、たまたま信号待ちをしていたときに車いすのタイヤが段差によって、ずっと歩道に戻れない状況がありまして、もう少しでトラックに巻き込まれてしまう状況がありました。たまたまそれはトラックの方が気がついてくださって大事故になりませんでした。そういうバリアフリーといいますが、道路の面についても高齢者の外出に今後

繋がっていくことなのかな、また障害者の方、当然車椅子で移動されている方がいらっしゃる中では、必要なことなのかな、そしてもう一つ、ベビーカーでも同じことが言えるのではないかなと思いますので是非そういう点での、交通の都市基盤を考えていただけたら、皆さん市民全員が住みよいまちになるかと思っておりますので、お願いしたいところでもあります。

【建設部長】

道路のバリアフリー化は非常に大事なことだと思っております。

安城市内、数多くの道路がありまして、まだまだ至らないところがあると思っております。段差の解消ですとか、路面の平坦化というそういったことは地道に進めていって、皆様に安全に暮らしていただけるような、道路づくりを心掛けてまいりたいと思っておりますので、ご理解よろしくお願いたします。

【加藤研一会長】

先程、沓名委員からもお話がありましたがコロナの時代で何にもやらないというのは、これはいけないと思ひまして、私共、町内会でもやれることは少しずつでもやれる方法でやるということで、取り組んでおります。さすがに夏の盆踊りまではかなり自粛しましたが、その後はいろんなことを当初の予定に沿って、やり方はもちろん変えていますけれども、やっています。たとえば運動会ですと、全員で集まるのではなく、最初の開会式、閉会式、これはもうなし。途中の競技を保育園児、未就園児のグループ、それから小学生、中学生、それから大人、一般、高齢者の3つのグループに分けて、時間を区切って1つのところが終わったら入れ替えて、次のということで3回に分けてで、2時間程で開催しました。本当にみなさん楽しんでいただきました。

それからお祭りの御神輿は、当然子どもたちが20人から30人にくらいに分かれて御神輿を何台か出します。これも、注意はしましたが、やることはやりました。ただ、餅投げそのものはさすがに中止にしました。その代わり餅を全家庭に配りました。厄年会の方とか、評議員の皆さんに手伝っていただき全戸配布しました。通常ですと、餅投げをやっても餅は拾えないけれども、こうやって配ってくれるとありがたいね、とかえって喜ばれる。やり方によっていろんな答えがでてくるとつくづく感じました。引き続き With コロナの時代ということでございますので、いろんな工夫をしてやっていくということが大事かなと思ひます。

それでは以上で、議案のとおり了承ということでよろしいですか。

はい、ありがとうございました。

それでは議題(1)はご承認いただいたということでございますので、マイクは事務局へお返しいたします。

【事務局】

皆様、長い時間にわたりまして大変ありがとうございました。今日いただいた委員の皆様からのご意見につきましては、また私共の施策に活かしてまいりたいと思います。それから、先程私から申し上げた説明の中でございました資料の訂正ですとか、本日の資料、計画書に一部訂正や修正が生じることになりますので、改めましてこの結果を踏まえまして確定したものを正式にお送りしたいと思っております。

最後にこちらからのご連絡でございますが、次回の審議会は年度明けまして、令和3年の6月を予定しております。議題はこの令和2年度の総合計画及び総合戦略の進捗の報告でございます。

それでは皆様、どうもありがとうございました。